

# IR

## 和歌山県 I R 基本構想 (改訂版)

～ 和歌山県が目指すリゾート型 I R 構想について ～

和歌山県



- 1 I R（統合型リゾート）とは
- 2 和歌山が目指すリゾート型 I R
- 3 候補地 和歌山マリーナシティ
- 4 なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか
- 5 I R による課題と対策
- 6 今後のスケジュール

# I R（統合型リゾート）とは

## I R（Integrated Resort）とは

- 単なるカジノホテルではなく、様々な施設（※中核施設）が一体となった**複合的な観光集客施設**
- 日本で認められるカジノ施設の規模は、**I R施設の延べ床面積3%以下**
- 民間事業者により設置・運営される（**民設民営**）
  - ➔ 国が設置するカジノ管理委員会による**徹底的な信用調査**が行われ、クリーンな企業のみが日本で事業を行うことができる





写真：シンガポール リゾート・ワールド・セントーサ

### ※中核施設とは

- ・ 国際会議場施設、展示施設、日本観光の魅力増進施設、国内観光旅行を提案しアレンジする施設、宿泊施設等

# IR（統合型リゾート）とは （諸外国のIRの効果事例）

## 大規模な民間投資の実現

### ■シンガポール

- マリーナ・ベイ・サンズ : 約4,870億円
- リゾート・ワールド・セントーサ : 約5,220億円

### ■マカオ

- スタジオシティ : 約3,870億円

## 地域にもたらす経済的恩恵

	マリーナ ベイサンズ (シンガポール)	クラウン エンターテイメント コンプレックス (オーストラリア)	ソレア リゾート&カジノ (フィリピン)
開発 費用	約4,870億円	約1,400億円	約1,200億円
雇用 者数	約9,500人	約9,200人	約5,600人
IR全体 売上額	約3,200億円	約1,670億円	約700億円
IR全体 入場者数	約4,500万人	約1,700万人	約730万人

建築資材等の  
優先的な地元調達

優先的な  
地元雇用

財政の改善

交流人口・  
観光消費額の増加

(※和歌山県調べ)

# IR（統合型リゾート）とは（国が法律で示す制度）

## 国が目指すIRの姿

○カジノを含むIR施設を一体として整備することにより、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現し、観光・地域経済の振興への寄与、財政の改善に資することを目的とする

## IR区域の認定制度について

区域認定数	3箇所を上限として法定
中核施設の要件・基準	我が国を代表することとなる規模等 (これまでにないスケールとクオリティ)
地域における合意形成	県議会の議決、立地市町村の同意及び公聴会の開催等が必須
認定までのプロセス	① 県が民間事業者を公募により選定 ② 県と民間事業者が計画を共同で作成 ③ 県知事が国土交通大臣に計画を申請、同大臣が認定

## 日本人に対するカジノ規制について

入場回数制限	7日間で3回、及び28日間で10回
本人・入場回数確認手段	マイナンバーカードを用いた本人確認
入場料	6千円
依存症対策	日本人は現金のみ使用可（クレジットカードの使用は不可） 本人及び家族からの申告による利用制限措置を事業者に義務付け

## I R（統合型リゾート）とは（まとめ）

- I Rは単なるカジノ施設ではない
- I Rは雇用を創出するほか、観光振興や財政改善にも寄与し、地域活性化につながる複合観光施設
- I Rの設置・運営により、2030年に訪日外国人旅行者数6,000万人、旅行消費額15兆円を目指すという政府目標を強力に後押し



- 1 I R（統合型リゾート）とは
- 2 **和歌山が目指すリゾート型 I R**
- 3 候補地 和歌山マリーナシティ
- 4 なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか
- 5 I R による課題と対策
- 6 今後のスケジュール

# 多種多様な観光資源を 背景にしたリゾート型 I R



## SPORTS

セーリング  
サーフィン  
フィッシング  
ダイビング  
ゴルフ  
ラフティング  
e-Sports



## WELLNESS (HEALING)

温泉  
メディカル・ツーリズム  
グランピング  
音楽祭  
高野山  
熊野古道



## 和歌山が目指すリゾート型 I R (コンテンツ①)

- エクセレントカンパニーの取締役会や、国際的な学会や会議が開催可能なラグジュアリーな会議場
- 5,000人以上が参加可能な大規模なメイン会場



## 和歌山が目指すリゾート型 I R (コンテンツ②)

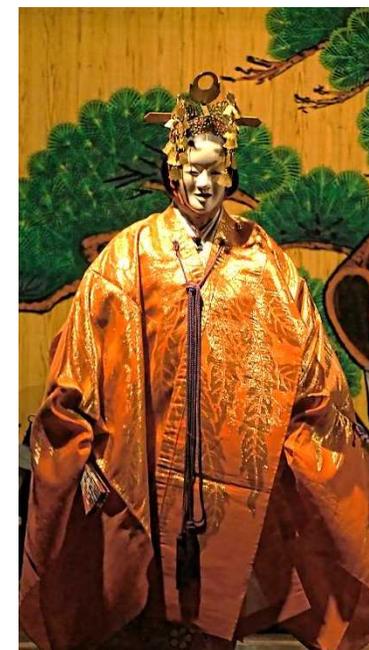
○世界的なスポーツ大会やe-Sports大会、ライブイベント、1,000人以上規模の報奨旅行（インセンティブツアー）等が開催可能な**全天候型多目的アリーナ・展示場施設**



(C) 1999-2019 OSAKA MOTOR SHOW  
※写真はイメージとなります

## 和歌山が目指すリゾート型 I R (コンテンツ③)

○ **伝統・文化、芸術等**を生かした公演等による**観光の魅力増進**  
施設



## 和歌山が目指すリゾート型 I R (コンテンツ④)

- 県内外観光地への予約・移動等が全て**ワンストップ**で対応可能な**ツアーデスク** (多言語対応コンシェルジュの常置)
- 観光スポットを疑似体験できる**観光シアター施設**



## 和歌山が目指すリゾート型 I R (コンテンツ⑤)

○海外の V I P も宿泊可能なラグジュアリーな5つ星ホテル  
(2,500室の規模を想定)



## 和歌山が目指すリゾート型 I R (コンテンツ⑥)

○海外で評価の高い和食を中心としたレストラン街や関西圏の  
伝統工芸品・名産品を集めた高規格ショッピングモール



©京都和傘屋辻倉



## ○ V R 技術などを活用した体験型のゲーミング施設



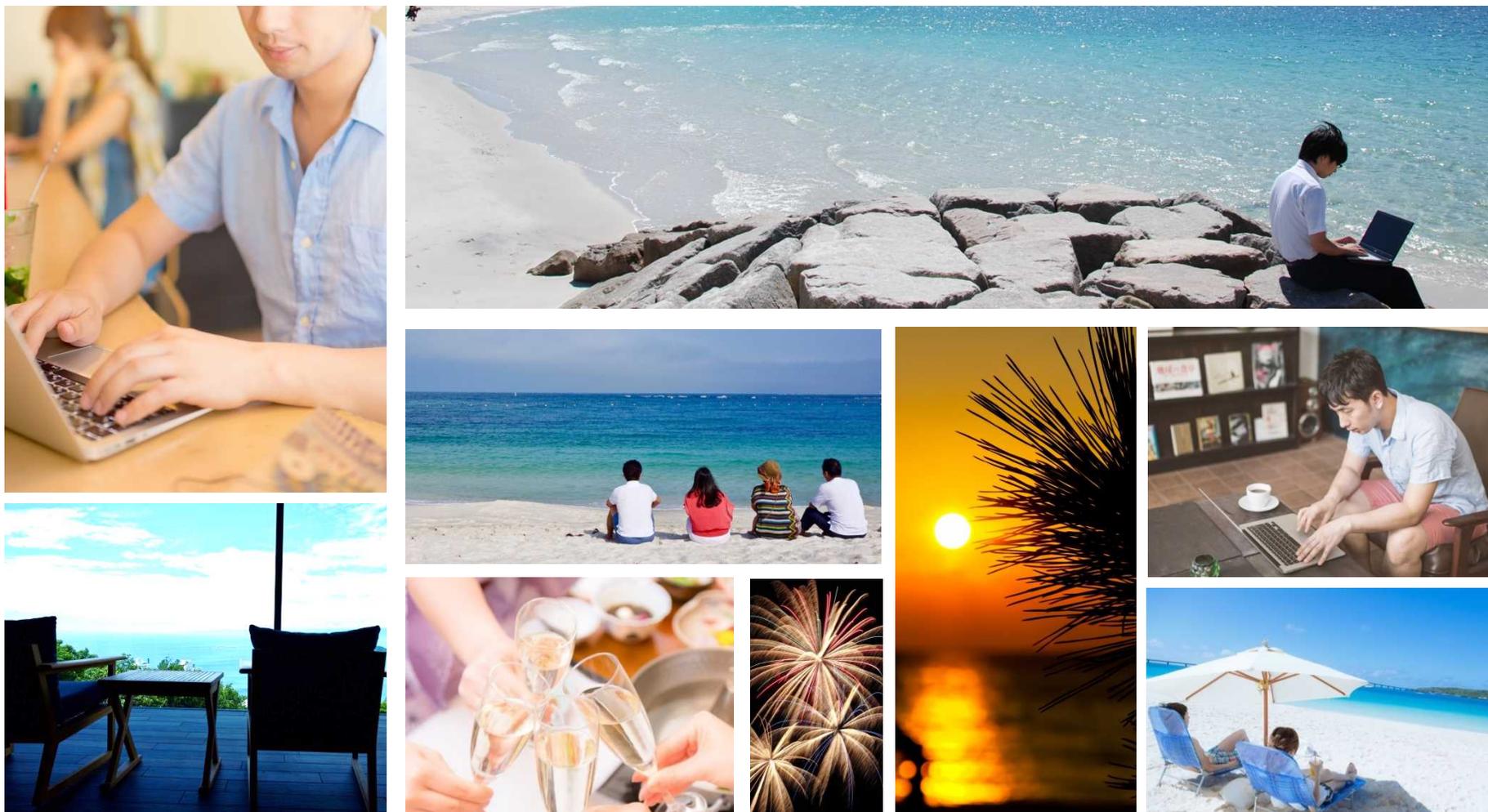
## 和歌山が目指すリゾート型 I R (コンテンツ⑧)

○農・水産品を中心とした高価格帯の県産品を世界に発信する施設



# 和歌山が目指すリゾート型 I R (ワーケーションの推進)

## ○休暇を取りながら仕事ができるワーケーションの拠点



## 和歌山が目指すリゾート型 I R (イベントの開催)

- I R 設置事業者と協力し、国際的な映画祭やスポーツ大会、e-Sports大会、閣僚級会合等を開催



©国際女性ビジネス会議 International Conference for women in Business 2018, all rights reserved



# 和歌山が目指すリゾート型 I R （新たな技術の導入）

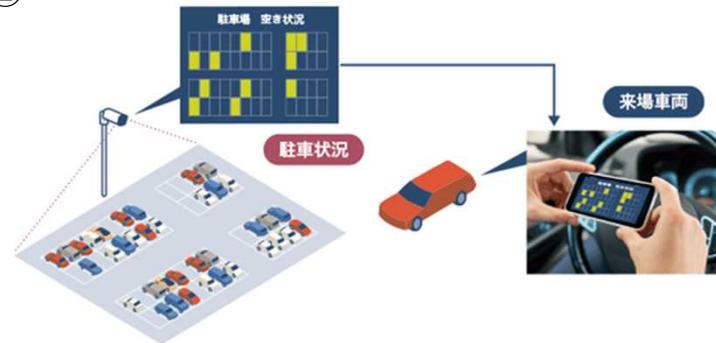
## ○新たな技術を用い、I R 区域内を整備

- ①水素や天然資源を用いたクリーンエネルギーシステムの採用
- ② I C T を活用した駐車場の空き情報等の発信による混雑回避
- ③ I R 区域内での自動運転バスの運行
- ④手のひら静脈認証などの生体認証システムを用いたチェックインや支払い機能の実装
- ⑤デジタルサイネージ（電子看板）等を用いた映像配信システムによる災害対策の実施

①



②



③



④



⑤



# 和歌山が目指すリゾート型 I R (海外の I R 事例)

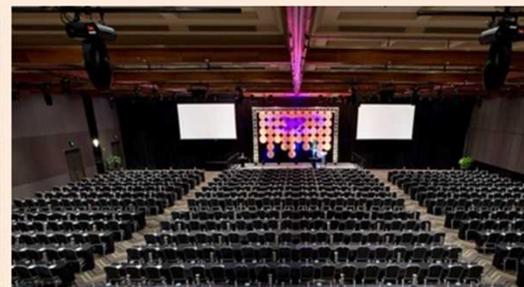
## 和歌山県がモデルとする海外 I R



- 海沿いに立地すること (ウォーターフロント)
- リゾートタイプであること
- 国際空港から近いこと

地区	人口	国際空港からのアクセス	設備概要
オーストラリア ゴールドコースト	約58万人	ゴールドコースト空港から車で約30分	カジノ：ゲームマシン1400台以上 ホテル：596室 (今後1400室まで拡大) コンベンション：最大2300名収容

施設外観・内観



地区	フィリピン パラニャーケ	人口	国際空港からのアクセス	設備概要
		約65万人	ニノイ・アキノ空港から 車で約15分	カジノ：ゲームマシン1800台以上 ホテル：800室 劇場：1760席

施設外観・内観



# 和歌山が目指すリゾート型 I R (海外の I R 事例)

地区	シンガポール セントーサ島	人口	国際空港からのアクセス	設備概要
		約561万人 (国の人口)	シンガポール・チャンギ 国際空港から車で約30分	カジノ：ゲームマシン2400台以上 ホテル：約1,600室 コンベンション：最大6,500名収容

施設外観・内観

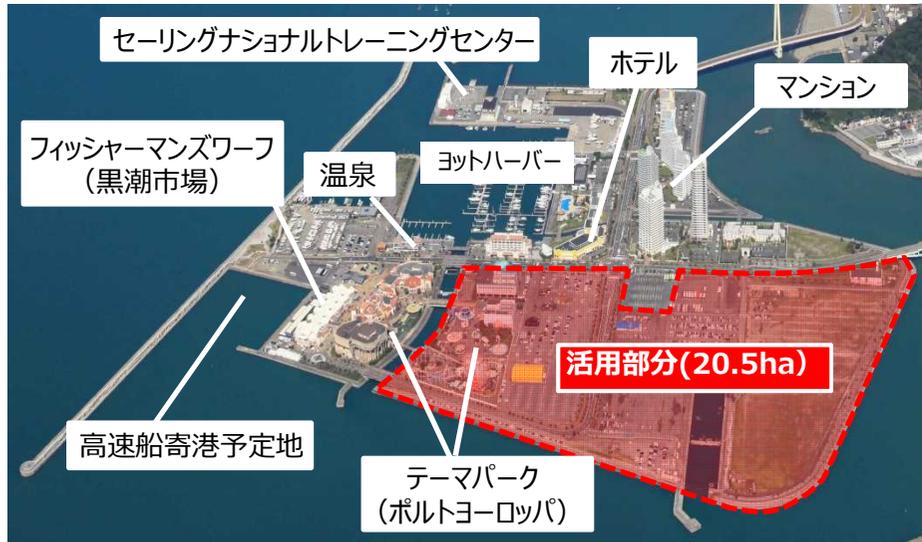


(※) 上記4枚の写真の著作権はゲンティン・シンガポール・リミテッドに帰属します

- 和歌山 I R は多種多様な観光資源を背景にした**リゾート型 I R**
- **世界と競合できるスケールとクオリティ**を実現
- **世界レベルの国際的なイベント**を開催

- 1 I R（統合型リゾート）とは
- 2 和歌山が目指すリゾート型 I R
- 3 候補地 和歌山マリーナシティ
- 4 なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか
- 5 I R による課題と対策
- 6 今後のスケジュール

## 候補地 和歌山マリーナシティ (優位性)



### ○ 関西国際空港に近接

- ・関西国際空港から最寄りICまで車で約30分
- ・関西国際空港からの高速船の乗り入れや、和歌山港に寄港するクルーズ船からのシャトルシップなど、海上ルートの活用が可能

### ○ 京阪神に近接

- ・周辺に多くのインターチェンジがあり、IR施設を拠点として、県内の観光地のみならず、大阪まで約60分、京都・神戸まで約90分以内と抜群のロケーション

### ○ すぐに着工が可能

- ・1994年に竣工した人工島で、全域整地造成済であるためすぐに着工が可能 (ゆえに早期の投資回収が可能)
- ・IRとしての活用部分は20.5ha (上図の赤囲み部分・拡張余地あり) ※シンガポールのマリーナ・ベイ・サンズと同規模

### ○ マリンスポーツ・マリンレジャーの聖地

- ・セーリングのナショナルトレーニングセンターが設置され、世界大会の開催、東京オリンピックに向けた選手強化、高校総体ヨット競技の固定開催など、日本屈指のセーリングスポット
- ・最大130ftの船が停泊可能なヨットハーバー (海上係留約220隻/陸上保管約280隻)

# 候補地 和歌山マリーナシティ (交通アクセス)

## 京阪神とのアクセス

### ○電車

大阪まで約60分

京都・神戸まで約90分

### ○自動車

大阪まで約60分

京都・神戸まで約90分

京奈和自動車道・第2 阪和国道の開通、さらに、近畿自動車道紀勢線の延伸や、すさみ串本道路、新宮紀宝道路の整備も進められており、県内観光地へのスムーズなアクセスが可能



## 《今後の取組》

### ストレスフリーで移動できる交通アクセス構築

大都市圏の交通結節点からの直結バスルートの新設の促進及び一次交通の拠点と二次交通の円滑な接続を図るため、バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルなど観光客のニーズに応じた移動手段をスムーズに利用できる環境整備を促進

# 候補地 和歌山マリナーシティ (多様なアクセスルート)

## 〇旅のスタイルに応じたアクセスの選択が可能

»自動車以外のアクセスも検討

### ヘリコプター

関西国際空港	-	マリナーシティ	13分
大阪国際空港	-		30分
神戸空港	-		25分
南紀白浜空港	-		25分

### 高速船など

関西国際空港	-	マリナーシティ	65分
大阪南港	-		105分
神戸空港	-		90分
新宮港	-		225分



※ 和歌山県試算

# 候補地 和歌山マリーナシティ (周辺環境)

「絶景の宝庫」として日本遺産に認定された和歌浦湾に位置するマリーナシティ周辺には、マリンレジャーやマリンスポーツの拠点、景観や歴史・文化を感じることができるスポット、新鮮な海産物など様々な魅力がそろっている



候補地 和歌山マリーナシティ (周辺の美しい景観)



# 候補地 和歌山マリーナシティ (観光・食資源との連携)

## 文化

「ロンリープラネット」や「ミシュラングリーンガイド」といった世界的な旅行ガイドブックで高評価を得ている世界遺産「高野山・熊野」をはじめ文化遺産が豊富



## 食

四季を通じて旬のフルーツが楽しめる「果樹王国」であると共に、日本一の生マグロの水揚げ量を誇るなど海の幸も豊富。特に梅・みかん・桃・柿などは国内最高のブランドとして世界最高の品質を誇る



## 温泉

「にっぽんの温泉百選」に選ばれた白浜温泉や熊野本宮温泉郷など、日本有数の温泉地であり、近畿圏内では最も温泉資源が豊富



## 自然

滝、渓谷、海岸など、四季折々の魅力を持つすばらしい風景



# 候補地 和歌山マリーナシティ (多様なアクティビティ)

自然重視のアクティビティ観光が世界の旅行者のトレンドとなっている中、海岸線が長く、山に囲まれ、川が多い本県は、ほぼ**全ての体験型観光が可能**



片男波ビーチ



サーフィン



サイクリング



パラグライダー



セーリング



フライボード



クルージング



ウェイクボード



フィッシング



合気道



スポーツラフティング



クリフダイビング



フリークライミング



白良浜ビーチ



ダイビング



熊野古道ウォーク



ホエールウォッチング

## 候補地 和歌山マリーナシティ (事業の実現性①)

国際会議場・展示施設を集客施設としつつも、事業採算性を高めて魅力ある投資案件とする観点から、IRの主要施設として、ラグジュアリーホテル・多目的アリーナ等・ツアーデスク・駐車場を想定

### 事業性分析の結果要約

想定されるIRの規模		投資額	2,799億円
延床面積	457,183㎡		

#### 【前提条件】

- 敷地面積・・・205,000㎡
- ラグジュアリーホテル  
ホテル客室数2,500室を有するハイグレードなラグジュアリーホテルを想定。なお、カジノはラグジュアリーホテル内への設置を想定。
- 国際会議場・展示施設  
多機能アリーナやハイグレード会議室が含まれる50,000㎡の施設を想定
- その他施設・・・魅力発信施設、ツアーデスク、駐車場を想定

※ただし、これはIR整備法施行令（施設基準）公布前に試算した下限の想定

事業性分析の結果、数年で投資回収が可能なことから、本県におけるIRの運営は十分な事業性を見込むことができる

## 候補地 和歌山マリーナシティ (事業の実現性②)

R F I (投資意向調査) での海外 I R 事業者 7 社からの提案 (抜粋)

### ●投資額について

- 複数の事業者が、和歌山県が試算した**2,799億円を上回る投資**を提案している
- 投資回収年数についても、8年以内の計画が大半

### 事業者からの主な提案

#### ○ホテルについて



6つ星ホテルを  
含む計2,500室  
のホテルを整備



最大で3,000室  
のホテルを整備



計約2,200室のホテルの  
他、住居用のマンション  
(レジデンス) も整備

#### ○国際会議場・展示施設について



50,000㎡の会議場・展示施  
設に加えて、15,000㎡のア  
リーナ施設も整備



日本でこれまでにない  
スケールとクオリティ  
の施設を整備

#### ○その他施設について

水族館、植物園、博物館、劇場、テーマパーク、ショッピングモール、プール等の提案あり

# 候補地 和歌山マリーナシティ (大阪との近接性)

## 近接する I R が発揮する相乗効果

大阪 I R と和歌山 I R

- ① 異なるコンセプトの I R
- ② I R 間の移動が容易



相互に送客施設として機能する



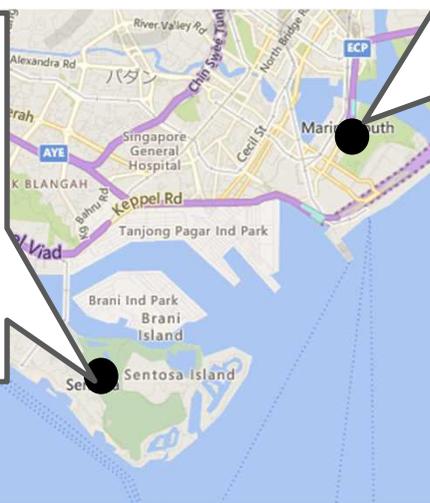
観光客が回遊することで、  
2つの I R が相乗的に経済効果を発揮する



## シンガポールでは既に効果を発揮



リゾート・ワールド・セントーサ (※)  
(2010年一部開業)



マリーナ・ベイ・サンズ (2010年開業)

○車で約30分と近接しているが、  
コンセプトが違うため順調に運営

- ・セントーサ (リゾート型)
- ・マリーナベイサンズ (都市型)

(※) 本写真の著作権はゲンティン・シンガポール・リミテッドに帰属します

- 和歌山マリーナシティは、IRの立地に  
高いポテンシャルを持つ
- IR事業者も事業性を高く評価

- 1 I R（統合型リゾート）とは
- 2 和歌山が目指すリゾート型 I R
- 3 候補地 和歌山マリーナシティ
- 4 **なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか**
- 5 I R による課題と対策
- 6 今後のスケジュール

# なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか (経済効果、雇用創出効果①)

和歌山マリーナシティに I R を設置した場合の施設規模や集客人口を想定し、建設投資や運営等による経済波及効果及び雇用創出効果を算出

## 経済波及効果等の結果要約 (県内)

I R 来場者数	約400万人/年
建設投資額	約2,800億円
経済波及効果 (運営等)	約3,000億円/年
雇用創出効果 (運営等)	約2万人

参考：和歌山県の現状(平成27年度)

観光客総数	約3,340万人
県内総生産額	約3兆5,300億円



- 上記は、①和歌山と大阪の両方に I R があること、②施設規模がミニマムであること、を前提として計算
- 算出結果は政省令で定められる基準によって変わりうるものである

# なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか (経済効果、雇用創出効果②)



農林水産業 約18億円  
(約400人・0.9%増)



飲食サービス 約246億円  
(約5,600人・21.5%増)



廃棄物処理 約27億円  
(約340人・10.6%増)



建設補修 約19億円  
(約130人・4.5%増)



飲食料品等 約50億円  
(約250人・2.0%増)



商業 約126億円  
(約2,900人・3.5%増)



警備・清掃等 約34億円  
(約460人・3.5%増)



機械修理等 約35億円  
(約160人・4.6%増)



医療・福祉 約22億円  
(約240人・0.4%増)

経済波及効果 約3,000億  
IR (雇用者増加数) (約2万人)



洗濯・美容・美容等 約8億円  
(約260人・2.9%増)



電力・ガス・熱供給 約86億円  
(約70人・4.5%増)



情報通信等 約49億円  
(約150人・4.4%増)



宿泊業 約360億円  
(約3,100人・42.5%増)



駐車場・会議場・アリーナ施設等 約43億円  
(約150人・11.8%増)



金融・保険 約62億円  
(約320人・3.0%増)



不動産 約116億円  
(約200人・3.6%増)



鉄道・バス・タクシー・  
運輸・旅行業等 約94億円  
(約450人・2.3%増)



娯楽サービス 約1,420億円  
(約2,700人・48.5%増)

# なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか (納付金・入場料収入)

## ●納付金について

カジノ行為粗収益の**15%**が認定都道府県等に対して納付される

カジノ施設の売上高	1,401億円
和歌山県への納付金 (見込額)	<b>210億円</b>

※事業性分析に基づき県が試算

### <納付金の使途>

観光の振興、地域経済の振興、社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策等の経費に充てる

## ●入場料について

日本人のカジノ利用者には施設入場時に、**6千円**の入場料が課される(国：3千円 県：**3千円**)

カジノ施設入場者数	3,575千人 (日本人2,448千人)
和歌山県への入場料収入 (見込額)	<b>73億円</b> (宿泊客：34億円) (日帰り客：39億円)

※事業性分析に基づき県が試算

### <入場料収入の使途>

地域経済の振興、社会福祉の増進及び教育の振興に関する施策等の経費に充てる



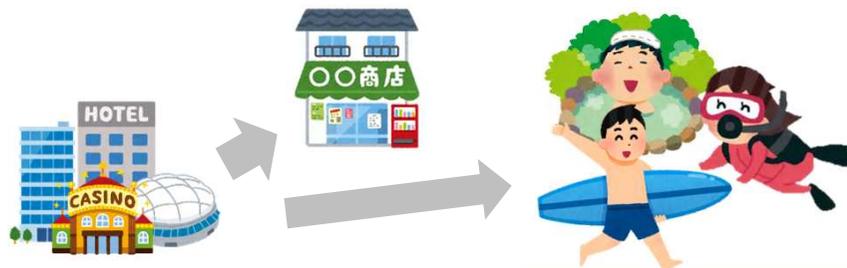
# なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか (地域振興策)

## I R を設置することにより和歌山全体が発展していくための仕組み

### クロスマーケティング

I R 来訪者を積極的に I R 外へ誘導し、和歌山の観光施設や地元商店を楽しんでもらう仕組みを作ります

- I R カードを用いた地域振興策  
(地元で使えるポイントやクーポンの I R 会員への配布)
- 県内観光地へのパッキングツアー・体験型観光の提案 など



### 高等教育機関との連携

高等教育機関と連携して、地元で密着した I R の実現を目指します

- 大学教育における観光・宿泊の雇用プログラムの実施
- 観光教育の啓蒙、授業の配信 など



### メディカルツーリズム

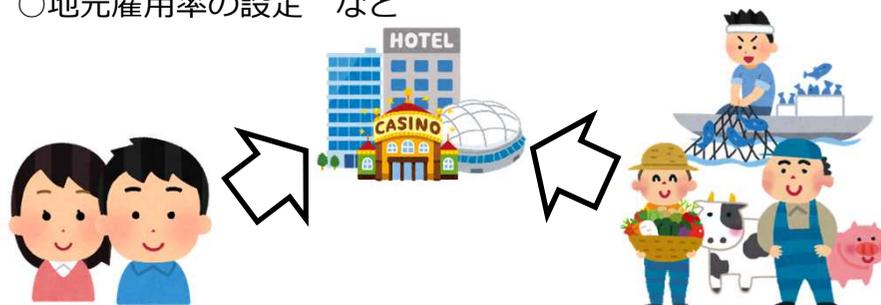
最先端の機器を用いた検診やアンチエイジングなどの医療サービスを目的とする I R 来訪者を受け入れ、滞在中には高野・熊野をはじめとするヒーリングスポットを訪れてもらうなど、既存観光資源と連携して長期滞在型の観光を目指します



### 地元優先の仕組み

I R で消費する物・サービス等を地元から優先的に調達する仕組みを作ります

- 県産品の使用、地元優先調達率の設定
- 地元雇用率の設定 など



### スポーツツーリズム

新たに I R 内に整備するアリーナ施設と県内の既存スポーツ施設を連携させ、多面的なスポーツ振興策を講じます

- 新たなスポーツ大会、スポーツ合宿の誘致 など



# なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか (シンガポールでは)

## 2010年に2つの I Rが開業したシンガポールでの効果

	2009年	2010年	2011年	伸び率 (2009年→2011年)
観光客数	968万人	I R開業	1,317万人	136%
観光収入	126億S\$		222億S\$	176%



マリーナ・ベイ・サンズ

+



リゾート・ワールド・セントーサ (※)

=

外国人観光客  
1人当たり  
旅行消費額が  
**3割増加**  
**約2.2万人の**  
**雇用を創出**  
**(直接雇用)**

(※) 本写真の著作権はゲンティン・シンガポール・リミテッドに帰属します

- **和歌山県の成長戦略として  
I Rはとっておきのメニューの1つ**
- **I Rのもたらす経済波及効果は絶大**

- 1 I R（統合型リゾート）とは
- 2 和歌山が目指すリゾート型 I R
- 3 候補地 和歌山マリーナシティ
- 4 なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか
- 5 I R による課題と対策**
- 6 今後のスケジュール

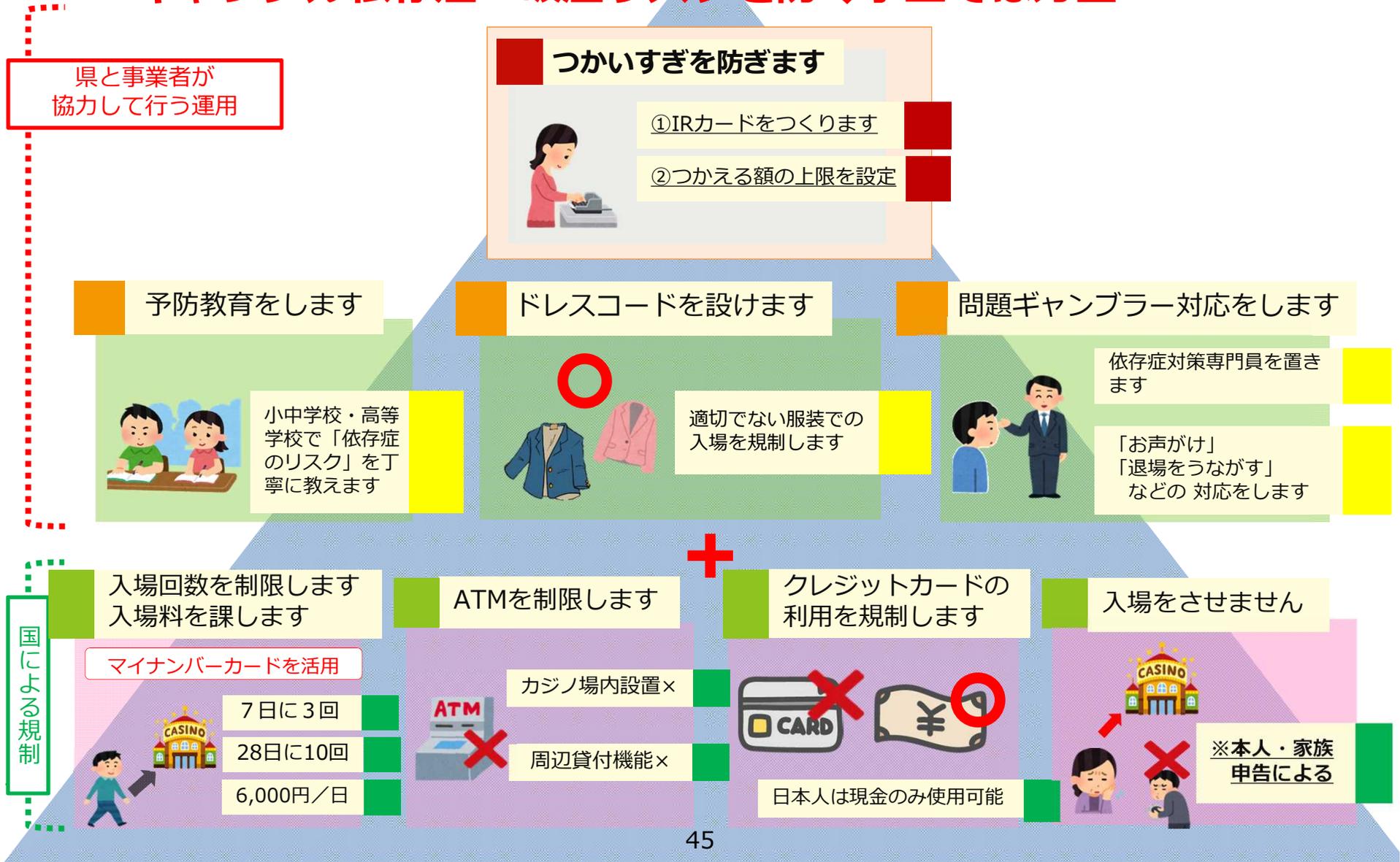
- ギャンブル依存症や破産リスクの増加
- 治安の悪化
- 反社会的勢力の介入
- マネーロンダリングの恐れ
- 青少年への悪影響



# IRによる課題と対策

## 県民の生活は守られるのか？

### ギャンブル依存症・破産リスクを防ぐ手立ては万全



# IRによる課題と対策 (ギャンブル依存症・破産リスクを防ぐ手立て①)

## IRカードとは

(例)



### ■ カジノ施設への入場時に作成

- 現金をチャージし、カジノでプレイ
- プレイ額に応じたポイントの付与



※ 事業者も導入に対して賛成

## IRカードのメリット

### ○ 利用上限額を設定

- ➔ 無意識の使い過ぎを防ぎ、破産リスクを回避
- ➔ チャージ行為を必要とすることで、クールダウンを促す



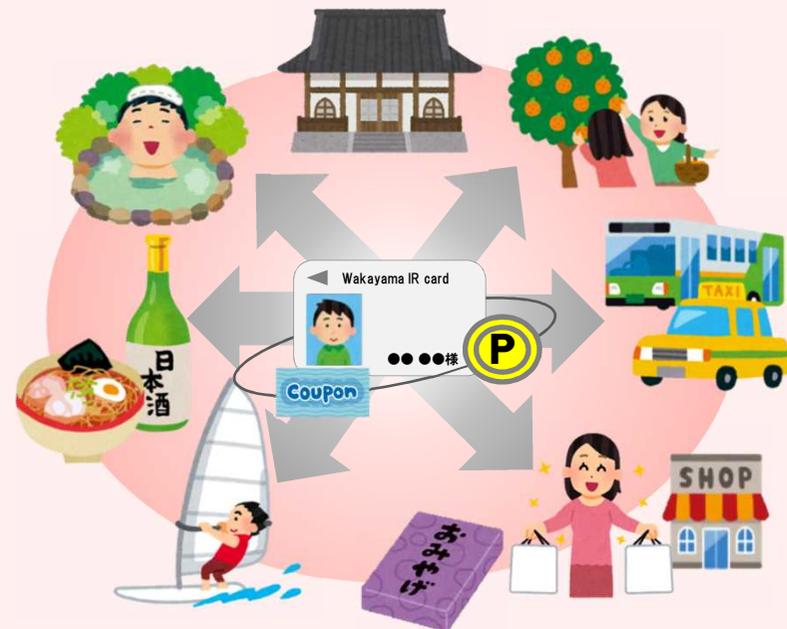
### ○ 利用者がいくら使ったか、どのような賭け方をしているかを一元管理

- ➔ 過度な賭け方をしている利用者を容易に把握でき、問題への迅速な対処が可能



## IRカードを用いた地域振興

- プレイにより付与されたポイント  
➔ IR外の商店街や観光地でも活用できる仕組みを構築



# IRによる課題と対策 (ギャンブル依存症・破産リスクを防ぐ手立て②)

## 予防教育

- 児童生徒及び保護者に対する依存症予防教育・啓発
- 普及啓発リーフレットの作成、高等学校を中心に専門家による出前授業の実施



## 依存症対策専門員

- 依存症対策の専門的な教育、訓練を受けた専門員をカジノ施設内に配置
- 利用者を観察し、ギャンブル依存症の徴候がある者に対して、プレイの中断を促したり、相談窓口案内する等の対応



## ドレスコード

- 適切でない服装での入場を規制
- 入場に対する心理的なハードルを高めて、安易な入場を抑制



## その他の対策

- 画像解析技術を用いて依存症の傾向にある利用者の行動パターンを特定・対応
- カジノの座席等にセンサーを設置し、異常な興奮状態にある利用者を発見



## 県民の生活は守られるのか？

### 治安の悪化・青少年保護にも十分に対応

#### 秩序維持

- 従業員の教育訓練
- 利用不適切者に対するカジノ施設の利用禁止・制限
- カジノ施設内外における監視・警備等の実施**



#### 暴力団員等の入場禁止規制

- カジノ施設への**暴力団員等の入場禁止**
- カジノ施設への全入場者に、**暴力団員等でない旨の確認**



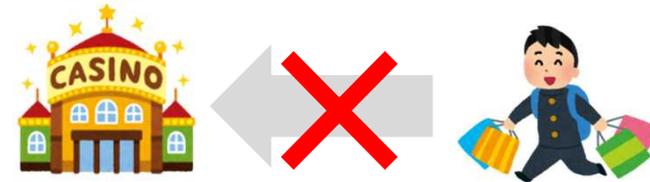
#### マネーロンダリング対策

- 取引時確認や取引記録の作成・保存
- 疑わしい取引の届出
- 一定額以上の現金取引の届出
- 内部管理体制の整備



#### 二十歳未満の者の入場禁止

- 二十歳未満の者の**カジノ施設への入場禁止**



#### 二十歳未満の者に対する広告・勧誘等の制限

- I R区域の内外にかかわらず、二十歳未満の者に対し**カジノ事業に関するビラ等の頒布や勧誘を禁止**
- カジノ事業・施設に関する**広告・勧誘について、二十歳未満の者がカジノ施設に入場できない旨の表示・説明義務**
- カジノ事業・施設に関する**広告・勧誘について、二十歳未満の者に対する影響に配慮**

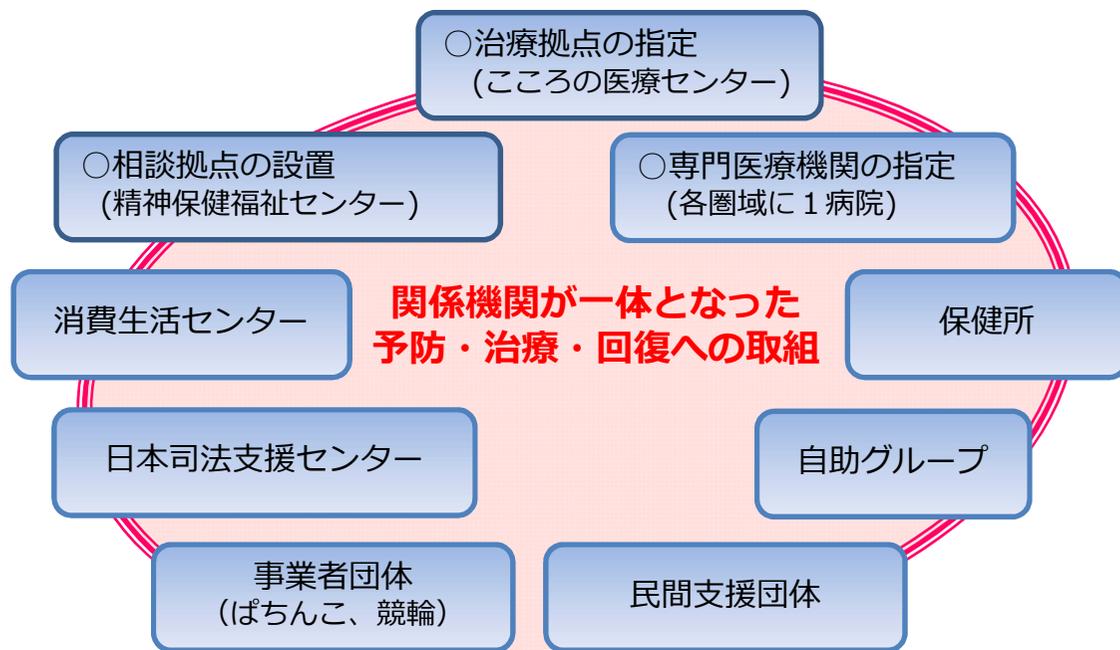


## ○和歌山県 I R誘致推進プロジェクトチーム

- ・ I R 推進室が中心となり、知事部局に加え、教育委員会、警察本部を含む関係29課室で構成
- ・ 交通体系、ギャンブル等依存症対策、県内企業の参画、広域観光の連携など、I R 運営事業者等として提案された内容について、必要性和可能性を検討

## ○ギャンブル等依存症対策プロジェクトチーム

### 地域支援ネットワークの構築 (ギャンブル等依存症問題連携協力会議)



### ○依存症対策強化の取組内容

- ・ 各圏域で専門医療を受けられる医療体制を整備
- ・ 研修等による相談スキルの強化
- ・ 情報提供・普及啓発による予防促進
- ・ 「ギャンブル等依存症問題連携協力会議」により、関係機関が一体となって依存症問題に取り組む体制を構築

# I Rによる課題と対策（地域の合意形成に向けた取組）

I Rを導入し、その効果を県全体で最大化するためには、**県民の理解・協力**が極めて重要

## I Rシンポジウムの開催

定期的開催

平成29年9月29日

和歌山県・和歌山市・和歌山商工会議所  
が中心となり、「和歌山 I R 推進協議会」を  
設立

産学官が一体となった  
**誘致推進協議会**の設置



関連事業者団体の会合にて  
I Rに関する県の取組を説明

**各種業界団体**への説明



## 勉強会の開催

平成30年6月6日

和歌山県議会議員（当時議長）が勉強会を実施（約400名の県民が参加）

定期的開催

行政報告会を活用した  
県内各地域での説明



平成29年11月

中小企業団体中央会主催セミナーにて  
I Rに関する県の取組を説明

県民向けセミナーでの説明



お申込みに応じて  
随時、講座を実施中

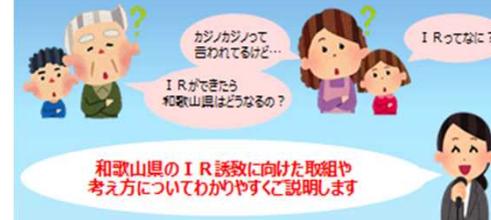
「出張！県政おはなし講座」  
を活用した説明



※県では、県政おはなし講座の  
申込みを募集しております  
（詳しくはHPをご覧ください）

### 「出張！県政おはなし講座」のご案内

統合型リゾート(IR)についてご存知ですか？



○対象  
県内に在住、もしくは通勤通学している15名以上のグループ ※応相談

○日時  
原則としてご希望に応じます（土曜日、日曜日、祝日、夜間可）

○申込方法  
実施希望日の1ヵ月前までに次のいずれかの方法で、企画総務課までお申込みください。

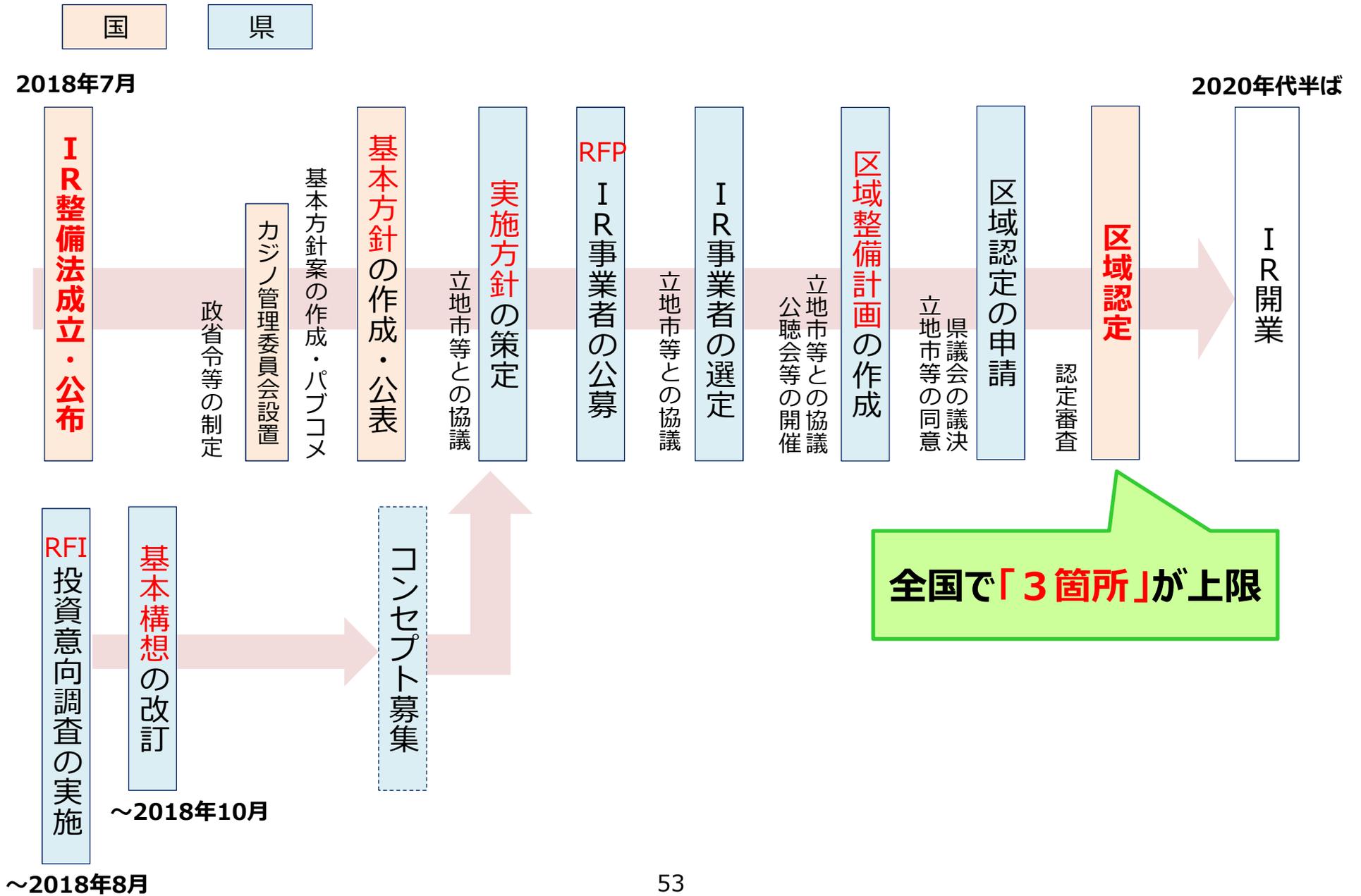
1. 電子メール  
件名を「出張！県政おはなし講座」申込みとし、ご氏名、ご連絡先を明記の上、申込用紙を添付して、企画総務課まで送付してください。  
申込用紙データ：和歌山県ホームページ  
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefgy/020100/ir/kanshoohanas.html>
2. 郵送・FAX  
裏面の申込用紙を企画総務課まで送付してください。

※ 会場の手配費用等以外は無料です。  
詳しくはお問い合わせください。

和歌山県企画総務課 TEL:073-441-2334 FAX:073-422-1812 担当：城内、梅谷

- 1 I R（統合型リゾート）とは
- 2 和歌山が目指すリゾート型 I R
- 3 候補地 和歌山マリーナシティ
- 4 なぜ、和歌山が I R 誘致を目指すのか
- 5 I R による課題と対策
- 6 今後のスケジュール

# 今後のスケジュール





# 和歌山県 I R 基本構想（改訂版）

〒640-8585

和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地

企画部企画政策局企画総務課 I R 推進室

TEL : 073-441-2334

FAX : 073-422-1812

E-mail : e0201001@pref.wakayama.lg.jp

県IR関連ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/ir/top.html>